

神戸トヨペット株式会社

お客様に寄り添い、クルマのある
幸せな人生を応援します



会社の概要

代表者 代表取締役社長 西村 公秀

所在地 神戸市兵庫区 (本社)

店舗61店舗

事業内容 自動車部品の製造

新車・中古車 (トヨタ・フォルクスワーゲン・レクサス) の販売、自動車整備および修理 (钣金・塗装) と自動車部品販売、自動車損害保険および生命保険代理業、情報通信 (PiPit/au) 取扱い、カフェ (姫路店敷地内) 展開

従業員数 955名 (うち障害者17名[身体10名(重度2名)、知的7名(重度3名)])

障害者雇用について人事担当者にインタビュー

雇用のきっかけは？

平成13年4月より、物流部門の改善を図るための策として、用品取り付け作業をトヨタ方式のラインを参考に取り入れ、その結果、現場作業の負担が軽減されました。2年目には仕事量も増え、作業の強化を図るため「増員」ということになり、その際、従来は高齢者の方をお願いしていた軽作業を、障害者の方をお願い出来ればと思ったのがきっかけでした。

取り組みに際しての課題とその対応策は？

まずは、障害者の方とどのように接して行けばよいのかすら分かりませんでしたので、兵庫障害者職業センターのジョブコーチ制度を利用しました。ジョブコーチの方に付いていただき、作業に当たっての指示の仕方や、体調管理、障害者の方との接し方、また保護者の方との連携まで、丁寧に教えていただきました。





採用はどのように？

ハローワークに求人申し込みをし、県立障害者高等技術専門学院や県立高等特別支援学校に求人票を持っていったりしました。また、ハローワークが開催する障害者合同就職面接会に参加し、2名を当カスタマーセンター勤務で採用しました。

採用に当たっては、採用条件や仕事の内容を明示し、その上で、長く勤務していただくために、働いてもらう職場を実際に見ていただいています。

雇用管理サポート体制などで工夫されていることは？

コミュニケーションを図るため、従業員みんなで一緒に昼食を取るなどして会話や交流を増やしています。また、彼らは、プライドを持って仕事をしているので、「障害者だから」はやめています、甘えは許しません。健常社員と全く同じ、同僚として扱っています。

とはいえ、体調不良等の折には、職場の同僚から迅速に報告してもらい、休憩のときに話を聞いたり、仕事の後「ご苦労さん」と一言声を掛けてあげたりしてフォローしています。職場での「トラブルは周りの者が気を付ける」ことを徹底しています。

また、長く勤務していただくため、本人のレベルアップを目的として、責任をもって仕事をするを教えています。同じ仕事でマンネリ化しないように、ラインを外して別の仕事をしてもらったり、時には清掃に回ってもらったりします。が、一人に任せっぱなしにはしないで健常社員と一緒に作業をします。

そして、ご両親や保護者の方との意思疎通を図るため連絡ノートを作成し、その日の出来事や、家であったことを共有することで、障害者へのアドバイスや指示に活用する工夫をしています。



最後に、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業に対する応援メッセージをお願いします。

当社は、事業拡大に伴い増員をする場合には、障害者の雇用も併せて促進していきます。

障害者雇用は企業の社会的責任でもあります。彼らは、プライドを持って仕事をしています。「障害者だから」という考えは捨てて、健常者と全く同じ扱いでいいのです。

採用から雇用管理まで、ハローワークをはじめ、関係支援機関の支援があります。

思い切って雇用への一歩を踏み出してください。

当社のカスタマーテクノセンターで 部品の取り付け作業と伝票整理に従事している 障害者の方へのインタビュー

この会社で働いて良かったですか？

車に興味を持つことが出来ました。また他にもいろいろ勉強になり、良かったです。

これからの目標をお聞かせください。

これからも頑張って仕事を覚えて、いろんな仕事を任せてもらえるようになりたいです。

